



2023年12月14日

各 位

会社名 株式会社イボキン  
代表者名 代表取締役社長 高橋克実  
(コード番号：5699 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員管理本部長 吉田朋子  
(TEL 0791-72-5088)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年12月14日の取締役会において、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
R O E ( % )	11.78	10.26	9.79	15.40	9.33
1株当たり 当期純利益 (円)	81.51	82.16	84.46	150.27	102.88
1株当たり配当額 (円)	13.50	15.00	15.00	22.50	22.50
1株当たり純資産 (円)	767.83	835.89	884.29	1,067.24	1,137.10
自己資本比率 ( % )	54.73	62.06	57.97	62.80	71.53
期末株価 (円)	1,484	2,829	2,177	1,834	1,420
P B R ( 倍 )	1.93	3.38	2.46	1.72	1.25

※2018年3月30日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2018年12月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、1株当たり配当額、1株当たり純資産額、及び期末株価を算定しております。

当社は、2018年の上場以来、ROEについては、概ね10%水準を維持しており、当社の株主資本コスト（4～6%）を上回っている状況にあります。一定水準以上の当期純利益を計上する一方、継続的な配当と増配を実施しておりますが、2022年12月期の1株当たり純資産は2018年12月期から約48.1%増加し、自己資本比率も70%を超える水準となりました。しかしながら株価については、2021年12月期の終盤以降下落し、足元では1,000円～1,200円のレンジで推移しております。そのためPBRは下落基調にあります。

#### 2. 改善に向けた方針

今後の成長戦略についての情報発信を活発化させるとともに、成長戦略を支える資本政策の変更、及び株主還元の実を基本方針といたします。

### 3. 具体的な取り組み

#### (1) 成長戦略に関する情報発信

当社はこれまで中期経営計画を開示しておりませんでした。株主・投資家の皆様に対し、当社事業の今後の取組予定についてご理解いただくため、2023年12月期の株主総会を目途に中期経営計画を開示することといたしました。また、これに先立ち、2023年12月期決算の開示に併せ、長期ビジョンを開示することといたしました。

#### (2) 資本政策の変更

当社は上場以来、事業活動により得られたキャッシュ・フローの多くを有利子負債の返済に充ててきました。そのため利益剰余金の増加と相まって、自己資本比率が70%を超えるに至りました。今後の成長のために必要な設備投資等の資金需要に対しては、新たな有利子負債の活用を検討します。

当社は、長期的・安定的な取引関係の維持を目的として、株式を政策保有しておりますが、3か月に一度、投資利回り及び受注量が資本コストに見合っているかを取締役会にて報告しており、見合わない判断された株式については処分を検討することとしております。また、一部の株式については、売却の上、成長投資に向けた検討も行っております。

#### (3) 株主還元について

当社は、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を実施することを方針としております。2023年12月期の期末配当については、創立50周年記念配当5円を含む、1株当たり27円50銭の配当を予定しており、今後も業績等を総合的に勘案し、増配に向けた努力を継続してまいります。

以 上